

第10回冬季学術集会のご案内

1. 期 日：2023年2月11日（土・祝）
2. 場 所：阪南大学 本キャンパス（近鉄南大阪線「河内天美」駅より徒歩約6分）
3. 形 式：対面 ※予定
4. 参加費：無料
5. 冬季学術集会参加申込方法：第10回冬季学術集会参加申込フォーム（<https://spo-sun.gr.jp/news/5043>）より2023年2月7日(火)17:00（厳守）までにお申込ください。
6. ランチタイム企画参加申込方法：第10回冬季学術集会参加申込フォーム（<https://spo-sun.gr.jp/news/5043>）の「ランチタイム企画」の選択をして2023年1月30日(月)正午（厳守）までにお申込ください。
7. リサーチ・カンファレンス2023発表申込方法：リサーチ・カンファレンス2023発表申込フォーム（<https://spo-sun.gr.jp/news/5041>）より2023年1月13日(金)17時（厳守）までにお申込ください。**発表される方は冬季学術集会参加申込も併せておこなってください。**
8. 主なコンテンツ（予定）

1) リサーチ・カンファレンス2023 ※午前

リサーチ・カンファレンスは、専門学校生、短大生、大学生、そして大学院生が「学生らしく」研究の成果を報告するセッションです。皆さんのフレッシュでエネルギッシュな発表を数多くお待ちしております。

○参加資格・区分：

若手研究者セッション①	大学院生（前期課程・後期課程）
※若手研究者セッション②	※大学院生（主に前期課程1年生・後期課程1年生など）
卒論セッション	学部4年生
ジュニアセッション	学部1～3年生、短大生・専門学校生

※新設部門（若手研究者セッション②）⇒表彰対象ではありません。今後の研究計画や研究予定などを発表し、セッション担当教員との議論を行う機会を設けます。

○若手研究者セッション、卒論セッション、ジュニアセッション、それぞれにおいて審査員が評価し、優秀研究に対して各部門の賞が授与されます。

※受賞対象となるのは、発表申込時に冬季学術集会参加申込もした人のみとなります。

2) ランチタイム企画

テーマ：「美食×ニュースポーツ～大阪名物やキャンプ飯を食べながらモルックを楽しもう！～」

ランチタイム企画は、大阪名物の河内鴨を使った料理などのランチを食べながら、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」を楽しむ企画となります。他大学の学生とスポーツを楽しみ、美味しいランチを食しながら、互いの情報交換や交流を深めることを目的としています。研究発表をする人もしない人も、どなたでも参加できます。

3) 冬季学術集会シンポジウム2023 ※午後（詳細調整中）

4) 理事会



・リサーチ・カンファレンス2023発表募集について	2
・スポーツ政策会議（SPJ）2022開催報告	2
・スポーツ産業アカデミー開催報告	3
・事務局より	4
・『スポーツ産業学研究』原稿募集	5

リサーチ・カンファレンス2023発表募集について

- 発表申込方法：リサーチ・カンファレンス2023発表申込フォーム (<https://spo-sun.gr.jp/news/3783>) よりお申込ください。
- 発表申込期限：2023年1月13日(金)17時(厳守)
- 発表要旨提出期限：2023年1月20日(金)17時(厳守)(開催当日配布の要旨集原稿)
- 若手研究者セッション①②, 卒論セッション, ジュニアセッション要旨
A4用紙2枚, 発表要旨書式をリサーチ・カンファレンス2023 (<https://spo-sun.gr.jp/event/3737>) よりダウンロードして使用
- リサーチ・カンファレンス2023発表要旨提出

方法：学会事務局宛 (jssi@spo-sun.gr.jp) に添付ファイルにて提出。

- 発表当日までに用意する資料
プレゼンテーション用ppt (プレゼンテーション時間は10分程度を予定)
- 表彰
 - ・審査対象：発表要旨
 - ・表彰のカテゴリー：
 - 若手研究者セッション①：大学院生
 - 卒論セッション：学部4年生
 - ジュニアセッション：学部1～3年生・短大生・専門学校生

スポーツ政策学生会議 (SPJ) 2022開催報告

2022年は、大会史上初めて対面発表とオンライン発表を組み合わせたハイブリッド開催となり、53チーム(22大学・学生278名)が参加しました。最優秀賞には、「伝統的なさんさ踊りとDリーグの自在な身体表現を掛け合わせることで、踊る楽しさの共有、地域住民の繋がり、新たなコミュニティの創造を持続的に図り、岩手県民の心の復興を促進する案を提示」した、立教大学松尾ゼミの「震災復興×ダンス×ファンタークン『岩手MiraIさんさプロジェクト』」が受賞しました。

- 参加チーム数：53チーム(内、オンライン参加：11)
- 参加大学数：22大学(内、オンライン参加：4)
- 参加学生数：278名
- 最優秀賞(研究奨励金：10万円)
 - ・立教大学 松尾ゼミ
「震災復興×ダンス×ファンタークン『岩手MiraIさんさプロジェクト』」
- 優秀賞
 - ・一橋大学 岡本ゼミチームE
「未来の地域プロデューサーの育成を目指して～特産スポーツ立案インターン『さとスポ5days』～」
 - ・神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 3年チームT
「NO事故で良eライフを～高齢運転者事故減少

を目指して～」

- ・明治大学 澤井研究室C
「『笑い』でフレイル予防ー『笑えるスポーツ』で高齢者を健康にー」
- ・一橋大学 岡本ゼミナールチームエル
「Deeee スポーツカフェー eスポーツ×認知症カフェで社会をつなぐー」
- ・神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 3年チームH
「スポーツdeジョイふる！～ふるさと納税による関係人口の創出に向けて～」
- ・亜細亜大学 石黒ゼミA
「フードドライブを利用した『スポエネ』プロジェクト プロスポーツクラブをモデルとした食品ロスと子供のカロリー不足に着目して」
- ・中央大学 渡辺岳夫ゼミ スポーツビジネス班
「プロスポーツ組織の地域貢献活動が観客の再観戦意図に及ぼす影響に関する実証研究」
- 協賛社特別賞(研究奨励金：各5万円)
 - ◆協栄賞
 - ・神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 2年チームZ
「海の森を環境教育レジャー特区へ～オリンピックレガシーを残しつつ環境問題の啓発に向けて～」
 - ◆FORUM8デジタル賞

- ・東海大学 大津ゼミナール
- 「メタバースを活用したサステイナブルライフへの提案－脱炭素社会の実現に向けたアプリで始める意識改革－」
- ◆ニュース・オブエド／ダイナミック企画立案賞
- ・神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 3年チームT
- 「NO事故で良eライフを～高齢運転者事故減少を目指して～」
- ◆笹川スポーツ財団賞
- ・神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 3年チームH
- 「スポーツdeジョイふる！～ふるさと納税による関係人口の創出に向けて～」
- 特別賞
- ・神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 2年チームI
- 「スポーツを軸としたペットボトルごみの削減とマイボトル利用の普及」
- ・日本体育大学 日比野ゼミ
- 「過疎地域在住者のQOL改善」
- ・明治大学 後藤ゼミA
- 「クローバープロジェクト～eスポーツを用いた交流促進～」
- ・同志社大学 スポーツビジネスゼミA
- 「スポーツクラブの地域貢献活動を活性化させる

- ために－必要とされる資金収支スキーム改革－」
- ・神奈川大学 小倉ゼミ
- 「高等教育機関におけるライフロング健康増進(Healthy & Wellbeing University)」
- 学生投票結果
- ◆1位
- ・一橋大学 岡本ゼミチームE
- 「未来の地域プロデューサーの育成を目指して～特産スポーツ立案インターン『さとスポ 5days』～」
- ◆2位
- ・明治大学 澤井研究室C
- 「『笑い』でフレイル予防－『笑えるスポーツ』で高齢者を健康に－」
- ◆3位(同率3チーム)
- ・立教大学 松尾ゼミ
- 「震災復興×ダンス×ファンタークン－『岩手MiraIさんさプロジェクト』－」
- ・神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 3年チームH
- 「スポーツdeジョイふる！～ふるさと納税による関係人口の創出に向けて～」
- ・亜細亜大学 石黒ゼミA
- 「フードドライブを利用した『スポエネ』プロジェクト プロスポーツクラブをモデルとした食品ロスと子供のカロリー不足に着目して」

スポーツ産業アカデミー開催報告

- ※日 時：2022年10月11日(火)18:00～19:00
- テ ー マ：「サンフレッチェ広島・新スタジアム建設事業の進捗と今後の展開」
- 登 壇 者：信江雅美(株式会社サンフレッチェ広島 総合戦略室長 兼 スタジアムパーク準備室長)
- 会 場：Zoomウェビナー
- 参加者数：51人/参加申込者数：52人
- ※日 時：2022年11月8日(火)18:00～19:30
- テ ー マ：「eスポーツが実現する課題解決の可能性」
- 登 壇 者：稲葉太郎(株式会社QTnet 経営戦略本部YOKAプロ部 部長)

小橋勝之(株式会社QTnet 経営戦略本部YOKAプロ部eスポーツ事業グループ長)

- 会 場：Zoomウェビナー
- 参加者数：31人/参加申込者数：35人

- ※日 時：2022年12月13日(火)18:00～19:30
- テ ー マ：「サッカーは社会の縮図－スポーツが生み出すコミュニティの重要性 サッカー日本代表OBOG会長が語る」
- 登 壇 者：藤口光紀(広島経済大学スポーツ経済学部教授, 広島県サッカー協会シニアアドバイザー, 日本フッ

トサルトップリーグ代表理事、サッカー日本代表OB/OG会代表)

■会場：Zoomウェビナー

■参加者数：24人/参加申込者数：33人

事務局より

〈シクミネットについて〉

2021年4月より会員管理・入金管理システムであるシクミネット (<https://shikuminet.com/>) を導入して2年目となりました。システム導入・継続にあたり多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

正会員、学生会員の皆様には以下の内容について当該システム上の「マイページ」よりお手続きをお願いします。

- 登録情報の編集
- 年会費の支払い
- 当学会主催イベントへの申し込み、入金

尚、年会費の支払い方法につきましては変更可能ですので、ご都合の良いお支払方法をご選択ください。決済方法はいつでも変更可能ですが、マイページ「ご請求・お支払い情報」で「決済中」となっているご請求がある場合は、このご請求の決済完了後から、変更可能となります。

クレジットカード決済をご選択されている場合、マイページの「ご請求・お支払い情報」ページ中、「お支払い履歴」一覧の一番右にあります「領収書」より、領収書の発行が可能です。こちらをご活用ください。但しこの場合、領収書の発行者が「しゅくみねっと株式会社」になります。学会発行の領収書が必要な場合は事務局までご連絡ください。

まだログインお手続きがお済でない会員の皆様は、早めのお手続きをお願いいたします。本学会の銀行またはゆうちょ口座へ直接お振込みをご希望の方は、事務局までご一報ください。その他ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

- システムに関して：シクミネット info-jssi10023@shikuminet.com
- その他：日本スポーツ産業学会事務局 jssi@spo-sun.gr.jp

〈学会事務局〉

現在事務局はリモートワーク中ですので、お問い合わせ等ございましたら事務局宛 (jssi@spo-sun.gr.jp) にメールでご連絡くださいますようお願いいたします。

〈新会員紹介のお願い〉

日本スポーツ産業学会の会員数は、現在、個人会員が約680名、賛助会員が15団体、法人会員が13団体です。

本学会は、設立理念にもありますように、産業界、学界、官界と幅広い分野から会員を募り学会活動を進めています。学会の趣旨に賛同し、ともに研究を進める仲間を募っています。ご紹介頂ければ幸いです。

- 個人会員：学会HPご入会のご案内 <https://jssi.shikuminet.jp/>
「会員登録申請」よりお手続き願います。
- 法人会員・賛助会員：事務局 (jssi@spo-sun.gr.jp) までご連絡願います。

「スポーツ産業学研究」原稿募集

「スポーツ産業学研究」の原稿を募集します。奮って寄稿されるようご案内致します。

1. 原稿の種類 フォーラム，原著論文（総合研究，理論研究，事例研究，調査研究），研究ノート，書評，アゴラなど。
2. 原稿の採否 編集委員会により投稿分類の妥当性および査読の可否を判定した後に査読委員が選ばれ査読が依頼される。その査読結果をもとに編集委員会は原稿の採否を決定し，その結果を投稿者に通知する。
3. 提出する原稿 メールへの添付ファイル（ワードかPDF，図表はエクセル可）で送付のこと。
4. 論文の送付先 〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会編集委員会
5. 執筆方法 「スポーツ産業学研究」投稿規定（学会ホームページ）を参照。

日本スポーツ産業学会 「学会ニュースNo124」

発行日：2023年1月1日

発行者：日本スポーツ産業学会理事長 井上 智治

編集者：児玉ゆう子，中村 好男，磯貝 浩久，元 晶焔
岡 浩一郎，梶川 裕矢，越川 茂樹，田中 克昌
藤田 康範，藤本 淳也，金子佐知子（事務局）

事務局：〒202-0021

東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会事務局

TEL：042-461-1241

E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp

<https://spo-sun.gr.jp>